

News Release

2023年10月12日
株式会社日立製作所

日立のオープン勘定系パッケージ「OpenStage」が伊予銀行で採用決定

株式会社日立製作所(以下、日立)が提供するオープン勘定系パッケージ「OpenStage」^{*1}が、このたび、株式会社伊予銀行(以下、伊予銀行)の次期基幹系システム(以下、本システム)として採用されることが決定しました。

本システムの稼働は 2028 年を予定しており、具体的な計画については、今後、両社で検討していきます。

今回、採用が決定したオープン勘定系パッケージ「OpenStage」は、従来のメインフレームによる信頼性や安定性は堅持しつつも、銀行システムを抜本的に刷新し、容易に「つながり」、多様に「組み合わせ」、迅速に「連携する」勘定系パッケージです。銀行システム環境の変化において、コンポーネント化^{*2}・パラメータ化^{*3}によるシンプルかつ疎結合なシステム構造とすることで、機能拡張時の迅速な対応が可能となります。

また、金融機関においても DX を活用した異なる業種との連携が求められる中で、銀行業務の高度化のみならず、高付加価値サービスの提供や地域活性化につながる新サービスの創出といった多様な IT 戦略の実現に寄与します。

日立は、今後も、伊予銀行における「新たな価値を創造・提供し続ける企業グループ」の実現に向け、未来へ飛躍する持続成長可能な取り組みに貢献していきます。

^{*1} Linux ベースのオープン基盤上で稼働する勘定系システムで、日立と株式会社静岡銀行が共同開発したものを日立がパッケージ化。

<https://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2022/04/0412a.html>

^{*2} 業務機能を部品化し組み合わせること。

^{*3} 業務コンポーネント内の処理を共通化すること。

■オープン勘定系パッケージ「OpenStage」の特長

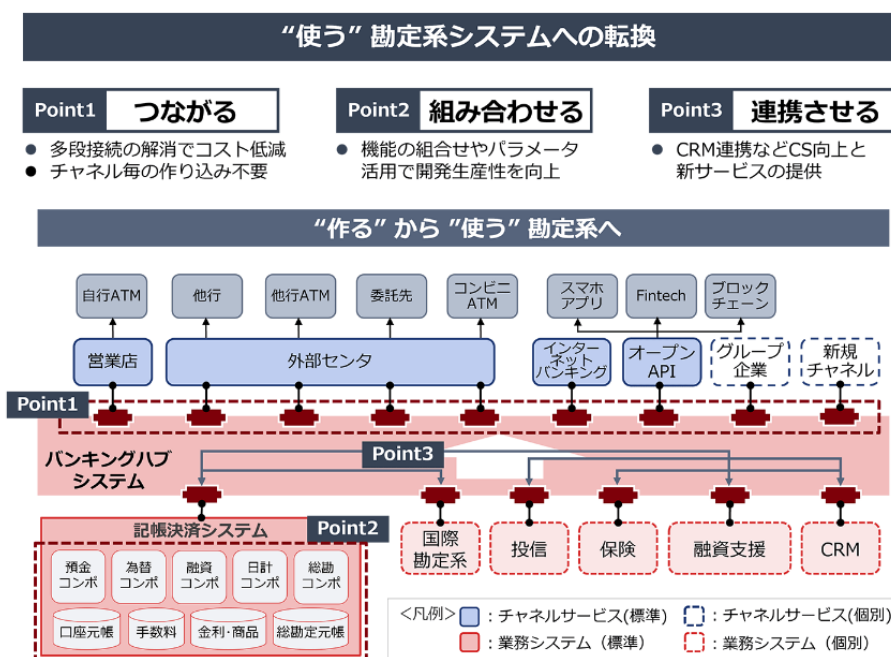
本システムは、従来のメインフレームにおける勘定系システムのアーキテクチャーを刷新し、預金、為替、融資といった銀行業務を実現する「記帳決済システム」と、各種業務システムやチャネルサービスなどとの接続を統合する「バンキングハブシステム」の 2 つのシステムで構成されています。

1. 記帳決済システム

勘定系システムの標準領域にあたる銀行基幹業務のアプリケーションをコンポーネント化、パラメータ化することで、個々の業務の特性や重要度に合わせた最適な機能配置を実現するなど、従来の「複雑な勘定系システム」から「シンプルな勘定系システム」へとアプリケーション構造を刷新しています。

2. バンキングハブシステム

営業店システムやインターネットバンキングといったチャネルサービスと容易に接続できるゲートウェイ機能を有し、シームレスかつ迅速なチャネル追加や他システム連携を可能にします。チャネルごとの作り込みなど開発を効率化するとともに、経営戦略遂行の自由度・柔軟性を向上し、「作る勘定系システム」から「使う勘定系システム」への転換を実現します。



また、OpenStage では、オープン基盤での稼働実績を踏まえ、次のステップとして、パブリッククラウド化の技術検証やさらなるデータ活用検証を実施中です。これらにより、お客さまの銀行システム全体における、IT 戦略投資の最適化をめざします。

■ 日立の金融ソリューションに関する Web サイト

<http://www.hitachi.co.jp/products/it/finance/>

■ 日立製作所について

日立は、データとテクノロジーでサステナブルな社会を実現する社会イノベーション事業を推進しています。お客さまの DX を支援する「デジタルシステム&サービス」、エネルギーや鉄道で脱炭素社会の実現に貢献する「グリーンエナジー&モビリティ」、幅広い産業でプロダクトをデジタルでつなぎソリューションを提供する「コネクティブインダストリーズ」の事業体制のもと、IT や OT(制御・運用技術)、プロダクトを活用する Lumada ソリューションを通じてお客さまや社会の課題を解決します。デジタル、グリーン、イノベーションを原動力に、お客さまとの協創で成長をめざします。2022 年度(2023 年 3 月期)の連結売上収益は 10 兆 8,811 億円、2023 年 3 月末時点で連結子会社は 696 社、全世界で約 32 万人の従業員を擁しています。

詳しくは、日立のウェブサイト(<https://www.hitachi.co.jp/>)をご覧ください。

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社日立製作所 金融システム営業統括本部 [担当：高島、松浦]

〒100-8220 東京都千代田区丸の内一丁目 6 番 1 号

お問い合わせフォーム：<https://www.hitachi.co.jp/finance-inq/>

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
